

## 表紙の数値についての解説

**表表紙:**18.1cm×18.1cmは、2004年(平成16年)と2009年(平成21年)の緑被地面積の差から一秒間に失われる緑の減少量を求めた数値です。

45.4%(1975年(昭和50年))、29.8%(2009年(平成21年))は各年の緑被率調査に基づく数値です。

**裏表紙:**「横浜の一秒の世界(横浜市域の一秒間の環境の変化)」です。

横浜市域の一秒間の環境負荷を試算した結果

項目	総量 (分母)	一年間の秒数 (分子)	一秒間の値 ※裏表紙の数値	参考
みどりの減少量	103.4ha	365日×24H ×60分×60秒 ≒3,153.6万秒	18.1cm×18.1cm (327.61cm <sup>2</sup> )	1ha=10 <sup>8</sup> cm <sup>2</sup>
下水処理量	58,294万m <sup>3</sup>		18.5m <sup>3</sup>	—
二酸化炭素排出量	2,017万トン		640kg	—
ごみの量	929,728万トン		29.5kg	—

注1) 緑被率は、緑の総量を把握する一つの手法で、2004年(平成16年)と2009年(平成21年)は300m<sup>2</sup>以上のまとまりのある樹林地や農地などを対象として調査しています。平成16年～21年で517ha(=市域面積の1.2%)が減少しています。なお、1年あたりの減少量を計算すると103.4haになります。

緑被率は、昭和50年からおおむね5年ごとに調査しています。

なお、調査年度によって調査手法や精度が異なるため、厳密な意味では前回調査結果との数値の比較はできません。おおまかな傾向として捉えてください。

注2) 下水処理量は、市内11個所の水再生センターで一年間に処理された下水の量です(平成21年度実績)。

注3) 二酸化炭素排出量は、横浜市内で一年間に排出された総量です(平成21年度実績)。

注4) ごみの量は、一般廃棄物の処理量です(平成21年度実績)。

### 横浜市のおもな環境関連ホームページの紹介

環境に関する各種の情報をインターネットでご覧いただけます。

- 地球温暖化対策事業本部 ▶ <http://www.city.yokohama.lg.jp/kankyo/ondan/>
- 環境創造局 ▶ <http://www.city.yokohama.lg.jp/kankyo/>
- 資源循環局 ▶ <http://www.city.yokohama.jp/me/pcpb/>

皆さまからのご意見をお待ちしています。

e-mail: [ks-kstoiawase@city.yokohama.jp](mailto:ks-kstoiawase@city.yokohama.jp)

## 横浜の環境 —平成22年版— (横浜市環境管理計画年次報告書)

[発行] 横浜市環境創造局企画部企画課  
平成23年1月発行  
〒231-0017 横浜市中区港町1-1  
TEL 045-671-4102  
FAX 045-641-3490



横浜市内の1秒あたりの緑の減少量

**18.1×18.1cm**

表紙の正方形と同じ面積(327.61cm<sup>2</sup>)

横浜市内で1秒あたりに水再生センターで処理されている水の量

**18.5m<sup>3</sup>**

500mlペットボトル37,000本分

横浜市内の1秒あたりのCO<sub>2</sub>排出量

**640kg**

横浜市内で1秒あたりに捨てられるごみの量

**29.5kg**

⋮

**横浜の環境、考えてみませんか。**

